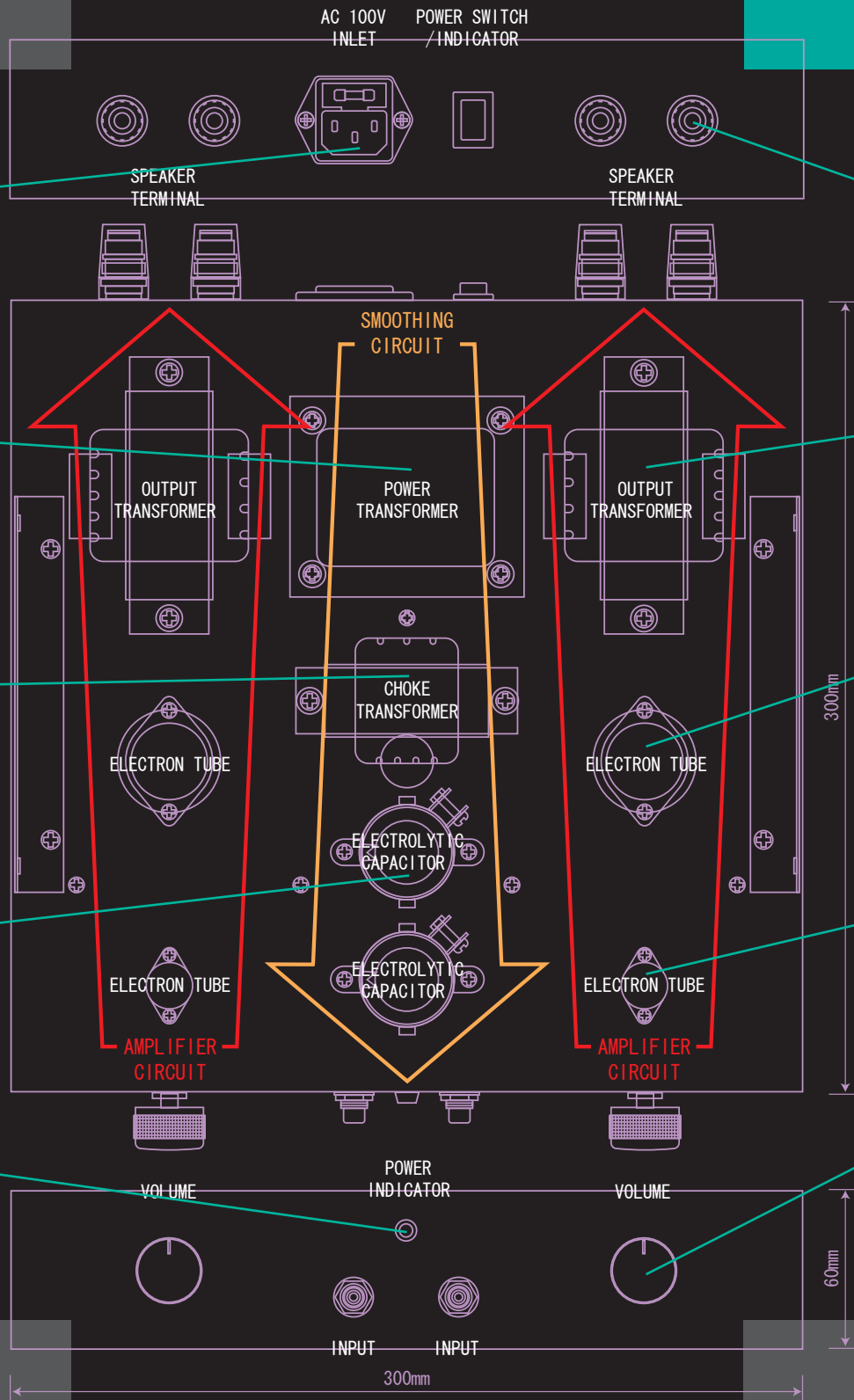


6L6GC・シングル・ステレオ・アンプキット

WATZ

A601

中央に電源回路を置き、その両側にモノラルアンプを並べました。AC電源は、リアからフロントへ進みながら整流されDC電源になります。電源スイッチは、ネオン管自照式ロクタルスイッチを採用し、ACインレットのすぐ隣に配置しました。



3PタイプのACインレットを採用しました。ACコードも付属しますが、拘りのある方はお好みのコードに差し替えることが可能です。

外径19ミリの大型スピーカー端子を採用しました。バナナ端子が使用可能です。太さ5ミリまでのSPコードが使用できます。

大型電源トランス採用今回は、250V端子を使用していますが、220mA280V端子も付いていますので幅広い応用が可能です。

出力トランスは、真空管アンプの音質を決定する大きな要素です。10W DC120mA大型出力トランスを採用しています。

5H150mA115Ωのチョークコイルを採用しました。ブロックコンデンサとブロックコンデンサの間に入れています。

電力増幅用ビーム管の6L6GCを採用していますが、KT-66、EL34、6G-B8、KT-88等の差替えには変更が必要です。

100μF+100μF 500Vのブロックコンデンサを2個採用しそれぞれ並列接続して200μFとして使用しています。

モノラルアンプ構成にこだわり、初段用管には、双三極管ではなく6AU6を2本採用しました。セパレーション良好です。

フロントパネル中央にパワーインジケータ青色LEDを採用しました。フロント・リア両面に電源ON表示付きです。

ツマミは、直径25ミリ、アルミ無垢材を削り出した高級タイプを採用しました。シャーンと同じアルマイト仕上げです。

音楽信号は、フロントパネル中央のRCAジャックから入り、ボリュームを通り、6AU6から6L6GC、出力トランスを経て、リアパネルのスピーカ端子へ出力されます。電気の流れ、信号の流れに沿った一切無駄のない素直なレイアウトは、オーディオファンなら一度は頭に描いたことがあるのではないのでしょうか。